

重点項目 P	評価項目 D (評価:とてもよい4 よい3 もう少し2 改善を要す1)	2学期 自己評価 達成度	1学期 自己評価 達成度	成果(○)と課題(●) C	改善方策(※) A	
学校経営	1 【計画的な校務の推進】 学校経営方針や課題に対してチーム瀬々串として連携・協力し、計画的に校務が進められている。	3.2	3.3	○わからないことは聞きながら校務を進められた。 ○職員で共通理解をはかり、声を掛け合って校務を進めることができた。 ●自分のことで精一杯だった。		
	2 【業務改善】 業務改善に向け、教職員一人一人の意識の向上が図られている。	3.2	3.2	○定時退庁や19時までの退勤が学校全体でとても徹底されている。 ○早く帰れる日は仕事を切り上げて帰ることができた。 ●次年度のことが疎かになっていた。 ●2学期は行事が多く、忙しく感じた。	・今年度の反省をいかし、削れるところは削っていく。 ※教育課程編成での工夫	
信頼される開かれた学校教育の推進	3 【保護者との協力・連携】 PTA活動等、保護者との協力・連携がなされている。	3.2	3.1	○学校・地域・PTAそれぞれの思いがあるが、そのたびに話し合いの場がもたれている。 ○学級委員長さんと話し合いながら親子レクを行い、充実することができた。 ○運動会、持久走大会など保護者と連携しながら取り組めた。 ●1・3年生の親子レクは、充実していたと思うが、授業時数に制限がある中、3時間も使うのはどうなのか。また、担任が制作を担当するというのは負担にもなり、親子レクの趣旨とも違うのではないのか。		
	4 【伝統や特色を生かした教育活動の推進】 地域の伝統や特色を生かした教育活動を進めている。	↑	3.4	3.1	○今年度はコロナ感染症対策もおちつき、地域の協力もあって様々な行事を行うことができた。 ○地域の祭に参加したり、総合的な学習の時間を大切にしたりしながら、地域のことをより知ることができた。 ○運動会での棒踊り、6年生のそばづくりなど、これまで中断されていたものが、できる形で復活できた。 ○「ふるさと先生」での地域の方との関わりがよかった。	
	5 【積極的な情報発信】 学校便りや学級便り、ブログ等を活用して、積極的な情報発信を行っている。	3.7	3.6	○子どもの具体的な姿や写真を多用し、学習状況や学校での様子を伝えた。 ○大きな行事だけでなく、学年の活動もいち早くブログにアップされ、見てくださる方にはとても好評だと思われる。		
教職員の資質・向上	6 【研修の充実】 校内研修や個人研修、研修会参加等の充実を図っている。	3.5	3.4	○研修授業を通して、ICT活用について考え学ぶことができた。 ○研究授業の2本目を行い、研修を深めることができた。 ○補教でお互いに助け合っていた。 ○校内研修が充実していた。		
	7 【信頼される教職員】 常に教育公務員であることを自覚して信頼される言動を心がけるとともに、人権意識の高揚に努めている。	↑	3.4	3.1	○研修等を通して意識を高めることができています。 ●単元テストの平均が目標に達しなかった。	・心にゆとりをもてるように、今後も業務改善に取り組み、チームで支える雰囲気大切にします。
	8 【健康管理】 適正な勤務時間、健康相談の受診等、心身の健康を意識し、自己の健康管理がなされている。	↑	3.3	3.0	○適正な勤務時間に関しては、見直しをもった業務を心掛け、退校時間の提示が意識づけになっている。 ○退庁時刻を意識して仕事を進めることができた。 ●自分の心身を大切にできるよう業務改善に努めたい。	
心豊かでたくましく生きぬく瀬々串っ子の育成	9 【基礎基本の確実な定着】 基礎的・基本的事項の確実な定着が図られている。(一学校一改革「一人1問・1ポイントアップ」・単元テスト低90中85高80)	↑	2.9	2.6	○小テストや反復練習などをし、基礎基本の定着を図った ●定着に個人差がある。 ●計算や漢字の定着に努めているが、なかなか身につかない。	・根気強く指導を行う ・個に応じた課題の設定、個に応じた指導を行う。
	10 【思考・判断・表現力の育成】 書く活動や対話的活動が充実し、思考・判断・表現力の育成が図られている。	2.9	2.9	○学習形態を工夫し、思考力の向上に努めた。 ○書く単元では重点をおさえながら指導できた。 ○記述式の解答の問題に取り組むことで、解答の仕方になれてきた。 ○支援学級では対話的活動が難しいため、単元によっては交流学級と一緒に活動した。意欲的に参加し、会話のやりとりをする姿が見られた。 ●対話的活動がまだ不十分。		
	11 【家庭学習の定着】 家庭学習の方法について指導し、継続して取り組ませている。(1～4年(40分)5～6年(60分))	↑	3.1	2.7	○家庭と協力し、学習を行っている。○宅習の仕方が身に付いた。 ○子どもの発達段階に応じた家庭学習の量を調節しているが、見届けがなく学習が定着しない。 ●宅習帳の内容や量が充実してきた児童が多いが、習慣化されていない児童もいるのが課題。	※家庭との連携 ※個に応じた支援
学習指導	12 【学業指導】 学年の発達段階に応じた学業指導(しつけ)がなされている。	3.2	3.4	○休み時間の準備・話を聞く姿勢などきちんと身につけている ●文字を書く時に目が近くなっている。鉛筆のけずり忘れ	※家庭との連携 ※個に応じた支援	
	13 【授業改善】 めあてとまとめを必ず板書し、単元時間で完結する授業を実践している。	2.9	3.0	●一単位時間で完結できないことがあった。 ●授業の準備が計画的に行なえず、1単位時間でまとめまで終わらないことがあった。	・子どもの理解度に合わせながら、計画的に、分かりやすい授業づくりに努める。 ※時間配分の工夫 ※言葉の精選	
助け合う子【徳】	14 【道徳教育の充実】 「考え議論する」道徳の授業や評価の工夫がなされ、全教育活動を通して、道徳性の育成を図っている。	3.0	3.0	○道徳の研究授業をよい機会ととらえ、職員間で意見交流できたことは、有意義だった。 ○交流の場、ふりかえりの時間を設けることができた。 ●評価の仕方に工夫が必要。		
	15 【校内環境の整備】 校内環境は整備され、教室や廊下等の整理整頓は行き届いている。	3.4	3.3	○整理整頓を徹底させることができた。 ○子ども主体で整理整頓ができた。 ○整理整頓をしてから帰る習慣がついてきた。	※見届けの徹底 ・靴箱、鞆棚・ぞうきん・布巾 ・移動教室の際の残りの姿 ※掲示物の精選 ※職員室机上の整理整頓	
生徒指導	16 【基本的生活習慣の確立】 四つのあ「あいさつ」「歩き方」「集まり」「あとしまつ」が身に付いている。	2.8	2.8	●教師がついていないときの行動ができていないトイレのスリッパが逆になっていたり、土足でトイレに入った跡があった。 ●「右側」を「静かに」歩くができていないことがある。	・教室を出る前に歩き方を確認してから教室を出すようにする。	
	17 【人権教育の推進】 よりよい人間関係作りのために、手立てを講じている。	3.2	3.4	○頭ごなしに決めつけず、双方から傾聴した。 ○昼休みの遊ぶ時間の実施。 ○各教科でグループ活動など、協働的な活動を意識して取り入れた。	※児童と語る時間の設定	
がんばる子【体】	18 【学校体育の充実】 仲よし体育・教科体育等を通して、体力・運動能力の向上が図られている。	↑	3.8	3.4	○運動会や持久走大会などの体育行事に向けて目標や振り返りを行い、意欲的に活動でき、体力作りに積極的に取り組む様子が見られた。 ○子どもたちが自主的に取り組んだ。 ○体育の授業の中で、それぞれの運動に応じた補強運動を取り入れたことで、体力が向上しているのを感じる。	
	19 【健康教育の推進】 月目標(給食・保健)や健康診断結果をもとに健康習慣の定着がなされている。	3.0	3.0	○日々の給食指導、学活で指導ができた ○朝の会などで確認し、意識させることができた。 ●むし歯治療が済んでいない子どもがいる。 ●ハンカチ・ティッシュの携行、虫歯の治療などがまだ行っていない。	・保護者への呼びかけ・保護者、児童ともに必要性を伝えていく。	
	20 【学校安全の充実】 「自分の命は自分で守る」ことができるよう、安全指導・安全教育が進められている。	3.3	3.2	○大きなけが、交通事故等なくおわることができた。 ○避難訓練以外にも機会をとらえて、安全な生活について指導することができた。 ●休み時間に教室で安全に過ごせていないことがあった。	・朝の会・帰りの会や道徳の学習などで繰り返し指導する。	